

鳥海の里

広報

題字 開成指導課あじさい寮 宇佐美 清 枝

第115号 平成14年9月15日
発行 秋田県心身障害者
コロニー保護者会

保護者会事務局 秋田県心身障害者コロニー
TEL(0184)32-1082 FAX(0184)32-1083 秋田県由利郡西目町出戸字孫七山3の2
生産品直売所「歩人」TEL(0184)33-4310 TEL(0184)33-2255 FAX(0184)33-2044
地域生活サポートセンター「歩人」TEL・FAX(0184)32-0123

ホームページアドレス <http://www.fukinoto.or.jp/colony> E-mail colony@fukinoto.or.jp



創生指導課 ハンドベル演奏
曲目「ふるさと」「星に願いを」

主な内容

- * 研修報告・全国GH研修会……………2
- * 寿康祭・防災訓練・体験交流……………3
- * コロニー祭・夏祭り……………4～5
- * ビアガーデン・旅行・キャンプ……………6
- * スヌーズレールーム紹介……………7
- * お知らせ……………8



開所記念
コロニー祭開催

賑わう公園通り

研修報告



国立秩父学園

第七十六回 保護指導職員研修を

終えて

白光指導課 主事
尾留川 美和子

六月の一カ月間、埼玉県所沢市にある国立秩父学園で、指導職員研修に参加させて頂きました。

各専門的分野の第一線で活躍されている講師の方々による講義、演習の他、秩父学園や他県施設の見学等、まさに「百聞は一見にしかず」「一期一会」等、これらの言葉を自分自身で体感できた本当に貴重な研修でした。

全国から、二十九名の研修生が集い、各施設の情報交換を行いました。当コソニーは全国的にみて大規模な施設でありながらも、総合援護施設として利用者の主体性に基ついた個別支援の一層のサービスの向上を図っているだけでなく、グループホ

ーム、地域生活体験ハウス、コソニー生産品販売所「歩人」等様々な事業を展開しています。更に地域の拠点施設として、在宅者に向けての短期入所事業、学童保育、地域療育等支援事業など幅広い活動も行っており、きめ細かな支援がなされていると改めて感じました。

この一カ月間、施設を離れ、様々なことが客観視できたよい機会であったと思います。

今回、習得できた知識・技能・倫理観などを今後の支援に生かしていきたいと思えます。



秩父学園

第七回 全国グループホーム研修会

銀杏指導課 主事
三浦 智 幸

去る六月二十三・二十四日、北海道洞爺湖にて第七回全国グループホーム研修会が開催されました。参加者は世話人二〇〇名以上、施設関係者三〇〇名、計五〇〇名を超え、さらに今年十月には第八回研修会が島根県で開催されることになっており、グループホームへの関心の高さを物語っています。

シンポジウムでは全日本手をつなぐ育成会副理事長である室崎富恵氏が「親は安心安全な入所施設を希望するものだがその裏には施設が親（在宅）しか選べない状況だった」と述べられ、続いて伊達市地域支援センター長 小林繁市氏より「これからは利用者自身が様々なサービスを選択していく時代であり、我々関係者はそのサービスを品揃えしていくのが今後の使命である」との提言がありました。

伊達市や横浜市の先駆的な地域生活支援は、地域の特異性もあります。が、それ以上に関係者の熱意、パワーを感じ、今後当コソニーにおいての地域生活支援にその力を分け与えられた研修会でした。

障害者支援費制度

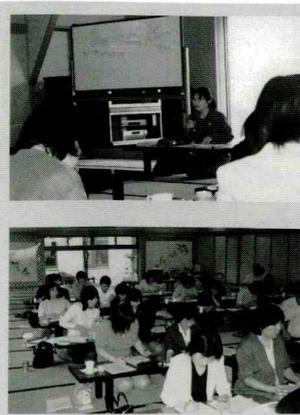
来年四月から始動

市町村の学習会始まる

コソニー入所利用者は、施行から平成十六年三月までの一年間は経過措置としてそのまま現在の施設を継続して利用できます。その間、施設利用サービスを受けられるよう各市町村に利用希望の申請を行い、障害程度区分やサービス量が決められ「受給者証」の発行を受けることとなります。受給者証を受けたら、コソニーあるいは他に希望する事業者と契約し施設を利用することになります。そのため、これからは市町村が重要な役割を持つこととなります。

県主催による、市町村担当職員への支援費制度の説明会や、行政事務についての説明会がコソニーを会場に行われました。

利用料については九月末頃までに国から示される予定です。





寿康祭で熱唱する北嶋さん

西目町
寿 康 祭

去る、六月十九日西目町寿康祭（今年で七〇歳を迎える方の祝賀会）に、開成指導課更生棟から四名、創生指導課から二名の併せて六名の方が参加しました。祝賀会の席で、町長さんから参加者一人一人にお祝いの記念品とともに声をかけていただいて、皆さんたいへん喜んでいました。また、祝宴では、お酒や御馳走をいただきながら、参加者や町の世話人などと交流して、なごやかなひとときを過ごしてきました。

七〇年という人生を歩んでこられて、様々な体験もされたことでしょうが、どうかこれからもお元気で頑張ってくださいと思います。

皆さん、おめでとございます。
開成指導課 松山 定美

春季防災訓練・奮闘第5分団



体験ハウス・グループホーム利用者の消火器訓練

六月二十七日、春季防災訓練が行なわれ、当コロナの職員で編成する西目第五分団も日頃の訓練の成果を披露してくれました。

体 験 交 流

ドライフラワー
壁掛け作り

7月2日、ボランティアとの体験交流がハーフワールドAKITAにて行われました。その日はボランティアの方3名と、けやき・はまなす寮利用者10名で作品作りを行いました。

最初は、お互いに初対面ということもあり少し緊張していた様子もありましたが、ボランティアの方も積極的に介助や話しかけをしてくれ、一つの作品を作ろうと取り組んでくれました。間もなくその緊張も解けたようで、皆、なごやかな雰囲気の中で時間を過ごしていました。完成した作品を囲み、みんなで記念写真を撮りました。

作品作りが終わると、昼食をとり後はゆっくりと過ごしました。雨でしたので外を散歩というわけにはいきませんが、利用者の皆さんもボランティアの方と手を繋ぎながら買い物をするなどして楽しんでいました。

銀杏指導課 小西友紀子

ハーフワールドにて



～スナッフ集～ コロニー祭



西目中学生によるハモネフ発表

去る六月十七日、中央公園を会場にコロニー祭がたくさんのボランティア、地域のみなさんの協力のもとに開催されました。素晴らしい天候に恵まれた中、西目中学校生徒有志による、今話題のハモネフ発表や吹奏楽演奏が披露された他、西目町民謡クラブ 睦美会による民謡や踊り、バスカータンブさんによる大道芸など、盛り沢山の企画で大盛況のうちに終了しました。



コロニー祭で交流を深める
友だちの会の皆さん

施設利用者のつどい

「ともだちの会」

平成十二年一月に、全県より施設の参加があり、一回目の全県大会が開かれました。

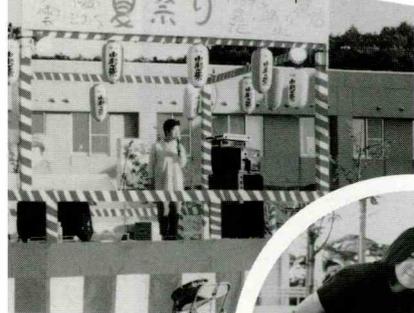
この会の趣旨は、各施設での利用者主体の活動をサポートしながら、利用者の方々の交流や本人主体の活動を推進していくことをめざしています。

今では、各施設間での自主的な自治会交流、また行事、スポーツなどの交流も盛んに行われています。

今回のコロニー祭には三施設の方々、四〇名程の皆さんに来ていただき、楽しく過ごしていただきました。

年に一度の全県レベルでの交流会だけでなく、利用者の方々为主体となつて、他の施設の皆さんとの交流を図っていきたいものです。

開成指導課 藤盛 幹弘



「はい、チーズ!!」



津雲優さんのミニコンサート



ハア〜つとせえ〜



西目中学校吹奏楽部の皆さん

わっしょい
わっしょい



のびのび舞



バスカータンブさん



私の指揮モ上手でしょ!?



各司会コンピ誕生!?



ゆつくり食べてね



茶席会組



おいくら?

恒例の「コロニー夏まつり」が七月二十八日に行なわれました。当日は、暑い真夏の夜を楽しもうと、たくさんの方においでいただきました。また、湯沢市の幻想的な絵灯ろうも夏祭りを彩りました。

今年、シンガーソングライター「津雲 優」さんのミニコンサートもあり、なつかしいCMソングなどで会場をわかせてくれました。



コロニー夏まつり



ハア〜ちよいちよい



恒例

ビアガーデン



銀杏指導課



開成指導課

「夏」と言えば、「生ビール」の季節ですが、今年も各課で思い思いの企画で「ビアガーデン」が行なわれ、利用者の皆さんは定番の「枝まめ」「やきとり」をおつまみにして、楽しいひとときを過ごしていただきました。

各課

旅行 始まる



白光指導課 7/10~11
最上川船下り



鶯宿温泉一泊旅行

赤光指導課 7/11~12
あさ開酒造 試飲会場にて



赤光指導課 7/11~12
盛岡手作り村にて



調理実習の腕の
見せどころ!!



おいしく
できるかな?

● ● ● 体験ハウス合同キャンプ ● ● ●
去る七月六、七日、由利原高原にて一泊二日の合同キャンプが行なわれました。参加者はグループホームの男子二名と、体験ハウスの男女十二名、それに職員の総勢十九名。

この日は、梅雨のさなかとあってあいにくの小雨模様の天気となってしまう、何とか晴れてくれることを願いつつ出発。途中スーパーで材料の買出し。これには全員参加。材料を一つ一つ吟味するRさん。職員が探し求める物を早く見つけるJさん。大量の材料を抱えきれない程運ぶ力持ちのSさん。各々楽しみながらの買物も終え、いよいよキャンプ場へ到着。休む間もなく食事の準備にとりかかる。そこへ応援の職員が駆けつけて大助かり。日没前には、冷たいビールで乾ききった喉を潤し、ジューシーな焼肉をほおぼると、宴は最高潮に盛り上がる。酔いが回ってつい口数が多くなる人もチラホラ。日頃のハウスでの様子やでき事を語らい夜の更けるまで交流会は続きました。「また来年も是非参加したい。」と口々に感想を述べながら帰途につく。明日への活力が湧きでてくるような楽しく充実したキャンプでした。

白光指導課 藤盛 恵子



スヌーズレン

銀杏指導課
加藤 敦

紹介

スヌーズレンの活動は、オランダが発祥の地でヨーロッパ各地に広がり、日本では島田療育センター等で実施されており、日本国内にも広がりを見せています。

スヌーズレンは、もともと最重度の知的障害を持つ人々への取り組みで、自分自身の選択で自分自身の時間を自由に楽しんだり、また、介護者と共に楽しみながら活動するものです。視覚・聴覚・触覚・嗅覚などへのやさしい刺激を感じ取れる環境であり、心地良い照明・音楽・香りなどが醸し出す環境は、障害のある方だけでなく、介護者も共に刺激を分かち合い、楽しむことができるお互いのリレーションシップを高めるスペースでもあります。

銀杏指導課けやき・はまなす寮では、スヌーズレンに出会い、利用者

の生活の中に、心身共にリラックス出来る環境を提供しようという事で準備を進め、昨年度から本格的に日課に導入しています。利用者の反応は様々ですが、ほとんどの利用者が緊張を和らげ、リラックサ状態を深めています。この度、ウォーターベッドを設置し、各用具がもたらす相乗効果が期待されます。

今後は、銀杏指導課のみならず、コロニーのサービスマニユアのひとつとして提供していきたいと考えています。皆さんも是非一度、スヌーズレンを体験してみませんか。

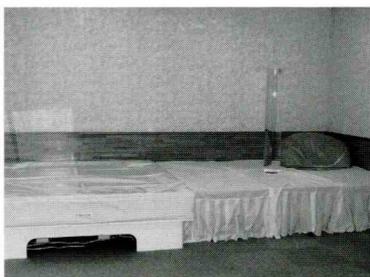
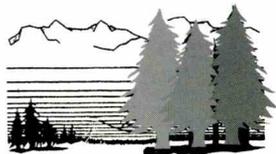


ボールプール

スヌーズレンルームってどんなところ？

スヌーズレンの語源ってなあに？

これは、オランダ語の "SNUFFLEN" (くんくんにおいを嗅ぐ) と "DOEZE -LEN" (うとうとするという2つの言葉からできた言葉です。



新たに設置された「ウォーターベッド」(左)

スヌーズレンは どうイメージすればいいの？

たとえば、緑の美しい森の中を歩けば、あちらこちらから鳥のさえずりが聞こえ、木の葉は風にそよぎ、遠くからは川のせせらぎが聞こえてきます。ああ、なんと素敵なハーモニー…。

このなんともいえない心地よさ、澄み切った気持ち、くつろいだ状態。このような世界をイメージしてみてください。

銀杏のスヌーズレンルームはどんな感じ？

光を遮断したルームの中は、バブルユニット(直径20cmの円筒の水槽)ポコポコと水泡をたちのほらせ、下部にあるライトが、赤・青・黄とそれを照らし出す。耳をあてるとその水泡音が、心地よく響く。

ウォーターベッドに横たわると、まるで小舟に乗って昼寝している気分させる。

目を閉じ耳を澄まし聞こえてくるのは、小鳥のさえずりだったり、寄せては返す波の音やオルゴール曲などゆったりとできるBGM。

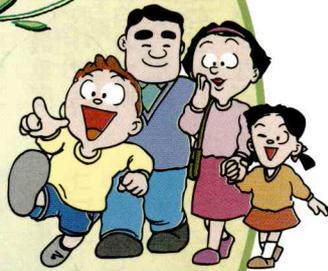
少しだけ、この場所でうとうととして肩に入った力を抜き、心身ともゆつくりさせてみようかなと思えるそんな空間です。



本格的活動開始

障害のある方の
医療や教育・仕事・
介護など毎日の生活の
悩み事何でもお気軽に
お電話・ご相談下さい

地域生活 サポートセンター 歩人



STAFF

古田 俊之 (コーディネーター)
渡辺まゆみ・藤島 薫

0184-32-0123

阿部 拓巳 (水林通動察生活支援センター)

0184-23-3551

コロニー企画調整課

0184-33-4528

昨年十月からスタートした本荘由利地区に住む、障害を持つ方とご家族が、
安心して地域での生活を送れるようお手伝いする事業(障害児(者)地域療
育等支援事業)ですが、この八月一日から、より地域に密着した活動になる
ように、「コロニー生産品直売所「歩人」の二階に、新たに地域生活サポート
センター「歩人」として活動を開始しました。
「コロニーと水林通動察、相互の支援機能を共有し、障害児(者)の地域支
援の拠点として機能していきたいと考えております。

地域生活サポートセンター
「歩人」
(アソビショップ歩人2F)



今後の行事予定

- スポーツレクリエーション
創生指導課 十月十二日(出)
銀杏指導課 九月二十二日(日)
赤光指導課 九月二十八日(土)
白光指導課 十月六日(日)
開成指導課
授産棟 九月十八日(水)
更生棟 九月二十六日(木)
■ 心いきいき芸術文化祭
九月二十七日(日)～二十九日(火)
(場所) アトリオン
■ 保護者会先進地視察研修旅行
十月二十七日(日)～二十八日(月)
山形県コロニー「希望ヶ丘」視察
ふれあい文化祭
十一月上旬

善意

- 秋田市 遠藤 松郎さん
秋田市 伊藤 妙子さん
西木村 (伊藤チエさんの保護者)
田口 忠亮さん
秋田市 (堀井 久子さんの保護者)
堀井 久子さん
西目町 (榎 久男さんの保護者)
海士剥簡易郵便局さん
由利舎さん
流通センターさん
孫七山簡易郵便局さん
長谷川薬局さん
美好玩具さん
池田薬局さん
本荘市
西目町・西目町議会様より夏まつり花火大会へのご協賛をいただきました。
皆様のご芳志に感謝申し上げます。
※ 利用者の動き
《入 所》
五月一日付
白光指導課ひまわり寮
大橋 幸子さん(角館町出身)

ご冥福をお祈り致します

- ◇ 利用者
みずき寮 榎 久男さん (六十歳)
- ◇ 保護者
さざんか寮 伊藤 チエさんの母
あやめ寮 小野寺 祥さんの
つつじ寮 湊 鋼三さんの母
からまつ寮 櫻山 一彦さんの
すみれ寮 門脇 保護者 清視さん
正子さんの母
タカさん

- 六月一日付
創生指導課さざんか寮
小松田アイ子さん(男鹿市出身)
七月一日付
銀杏指導課やき寮
林崎 俊之さん(秋田市出身)
八月一日付
開成指導課かえで寮
澤石 藤美さん(天王町出身)
《退 所》
五月三十一日付
創生指導課さざんか寮
田口 幸子さん(西木村出身)
身体障害者療護施設
「愛光園」(雄勝町)へ
六月三十日付
開成指導課さくら寮
工藤 三郎さん(大内町出身)
特別養護老人ホームおうちへ
《異 動》
開成指導課かえで寮
須田 肱次さん
同課さくら寮へ
銀杏指導課やき寮
高橋 謙輔さん
赤光指導課みずき寮へ